



2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 PCIホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3918 URL <https://www.pci-h.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原口 直道
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 井口 直裕 TEL 03-6858-0530
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 2020年6月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	8,661	6.8	424	9.7	441	13.0	107	43.7
2019年9月期第2四半期	8,112	11.0	387	21.8	390	24.5	191	33.7

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 80百万円 (36.9%) 2019年9月期第2四半期 127百万円 (56.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	13.09	
2019年9月期第2四半期	22.87	

(注) 1. 2019年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2020年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第2四半期	11,129	5,230	43.3	585.33
2019年9月期	11,315	5,033	43.0	591.52

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 4,821百万円 2019年9月期 4,865百万円

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		30.00		30.00	60.00
2020年9月期		30.00			
2020年9月期(予想)				16.00	

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年9月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を行う影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」としております。なお、1株当たりの予想期末配当金及び通期配当金総額において実質的な変更はありません。

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	5.2	880	7.0	900	6.7	355	22.8	43.13

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	8,522,400 株	2019年9月期	8,522,400 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	285,006 株	2019年9月期	297,152 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	8,225,804 株	2019年9月期2Q	8,355,586 株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年5月21日(木)にアナリスト・機関投資家向け説明会(Web配信)を開催する予定です。この説明会で配信する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(その他の特記事項)

当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年10月1日～2020年3月31日)における我が国経済は、雇用情勢・所得環境の改善の継続等、景気は緩やかな回復基調の兆しがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響等による懸念から、依然として先行きが不透明な状況下で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、I o T(※1)、I o E(※2)、人工知能(AI)等の先端技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に加え、文部科学省が推進する教育のIT化に伴う環境整備やテレワーク導入企業の増加、サイバー攻撃等の脅威に対する情報セキュリティ対策強化への優先的な投資傾向がみられ、IT投資需要は総じて堅調に推移いたしました。一方で、IT技術者不足は常態化しており、人材確保が継続的な課題となっております。

このような状況下において、当社グループは、これまでに培った技術基盤を核とした付加価値の高いサービス提供に邁進すると共に、グループ間シナジーにより、当社グループの成長戦略の柱であるI o T/I o Eソリューション事業の規模拡大を図ってまいりました。また、本格的なI o T社会の到来を見据え、巧妙化・複雑化するサイバー攻撃に対応する情報セキュリティビジネスに注力する等、社会的課題の解決と「安心・安全・豊かな社会」を目指した事業展開を推進してまいりました。

加えて、半導体トータルソリューション事業における規模及び事業領域の拡大並びに資本業務提携先との協業強化を目的に、2019年11月29日付にて株式会社シスウェーブの株式50%を譲渡し、併せて2020年1月1日付でVSE株式会社を存続会社として株式会社シスウェーブと合併(当社連結子会社)、商号を株式会社プリバテックに変更いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,661百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は424百万円(前年同期比9.7%増)、経常利益は441百万円(前年同期比13.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社が保有する有価証券のうち簿価に比べて実質価額が著しく下落したのものについて投資有価証券評価損を特別損失として計上したため、107百万円(前年同期比43.7%減)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業につきましては、売上高は6,544百万円(前年同期比3.7%増)となり、セグメント利益は384百万円(前年同期比12.7%減)となりました。

以下では、ITソリューション事業における概況と売上高を主要区分別に示します。

① エンベデッドソリューション

先進運転支援システム系開発のスマートカー関連案件、車載ECU(※3)、AUTOSAR(※4)系開発案件等の車載関連分野に加えて、センサー関連開発案件が堅調に推移いたしました。エンベデッドソリューションを担う主要な事業会社において第1四半期に戦略的な組織変更を行った影響等により、売上高は前第2四半期連結累計期間には至らず、2,594百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

② ビジネスソリューション

企業向けソフトウェア開発における産業・流通向け案件の増加、メインフレーム分野におけるDell EMCのハイエンドストレージ案件を含めた大型プロジェクトの売上寄与に加え、文教系ソリューションが堅調に推移したこと等により、ビジネスソリューションの売上高は3,949百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

(I o T/I o Eソリューション事業)

I o T/I o Eソリューション事業につきましては、売上高は1,211百万円(前年同期比49.5%増)となり、セグメント利益は23百万円(前第2四半期連結累計期間は△39百万円)となりました。

通信事業及びI o Tプラットフォーム関連事業が好調に推移し、売上に大きく寄与いたしました。また、セキュリティソリューションの販売強化に注力いたしました。

(半導体トータルソリューション事業)

半導体トータルソリューション事業につきましては、売上高912百万円(前年同期比8.8%減)となり、セグメント利益は3百万円(前年同期比86.4%減)となりました。既存顧客からのテスト評価環境構築及びテスト評価案件の継続的な受注により、売上高は概ね計画通りに推移いたしました。一方、一部の事業拠点におけるエンジニアの稼働率が減少したこと、新技術の実用化及び自社製品の販売に向けた積極的な研究開発投資を実行したこと等により、セグメント利益は前年同期に比べ、減少する結果となりました。

(注) 上記に用いられる用語の説明は以下のとおりであります。

(※1) I o T : (Internet of Things)

コンピュータ等の情報・通信機器だけでなく、様々な「モノ」に通信機能を持たせ、インターネットに接続、相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測等を行うこと。

(※2) I o E : (Internet of Everything)

I o Tよりも広い概念であり、ヒト・モノ・プロセス・データ等がインターネットにつながり、相互に通信が可能となる技術や状態、仕組みのこと。

(※3) E C U : (Electronic Control Unit)

自動車の電子制御装置のこと。

(※4) A U T O S A R : (A U T o m o t i v e O p e n S y s t e m A R c h i t e c t u r e)

車載ソフトウェアプラットフォームの仕様の名称及び自動車業界のグローバル開発パートナーシップのこと。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、11,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ185百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、現金及び預金531百万円、たな卸資産25百万円の増加の一方で、受取手形及び売掛金370百万円、電子記録債権173百万円、その他5百万円の減少により、前連結会計年度末に比べ6百万円の増加となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産11百万円の減少、無形固定資産66百万円の減少、投資その他の資産114百万円の減少により、前連結会計年度末に比べ192百万円の減少となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、5,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ382百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、短期借入金360百万円、未払法人税等101百万円、賞与引当金160百万円の増加の一方で、1年内返済予定の長期借入金29百万円、未払金380百万円、その他92百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ105百万円の増加となりました。

固定負債につきましては、社債106百万円、長期借入金358百万円、その他21百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ488百万円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益107百万円、自己株式の処分15百万円、子会社株式の一部譲渡などによる非支配株主持分236百万円の増加の一方で、配当金の支払123百万円、その他有価証券評価差額金42百万円の減少等によるものであります。

この結果、自己資本比率は43.3%(前連結会計年度末は43.0%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ531百万円増加し、3,718百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は643百万円(前第2四半期連結累計期間は343百万円の支出)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益235百万円、賞与引当金の増加160百万円、売上債権の減少544百万円があった一方で、未払金の減少379百万円、その他の減少80百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は63百万円(前第2四半期連結累計期間は161百万円の支出)となりました。

これは主に、投資有価証券の取得による支出22百万円、有形固定資産の取得による支出17百万円、無形固定資産の取得による支出13百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は48百万円(前第2四半期連結累計期間は32百万円の収入)となりました。

これは主に、短期借入金の純増減額360百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入238百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出387百万円、社債の償還による支出118百万円、配当金の支払額123百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日付けで2020年9月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細については、本日公表の「特別損失の計上及び2020年9月期 第2四半期連結業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,198,761	3,730,237
受取手形及び売掛金	3,529,860	3,159,132
電子記録債権	486,892	313,169
たな卸資産	164,744	190,571
その他	371,259	365,339
流動資産合計	7,751,518	7,758,450
固定資産		
有形固定資産	300,868	289,680
無形固定資産		
のれん	1,084,292	1,032,001
その他	353,065	338,947
無形固定資産合計	1,437,358	1,370,949
投資その他の資産	1,824,967	1,710,188
固定資産合計	3,563,194	3,370,817
繰延資産	766	428
資産合計	11,315,479	11,129,696
負債の部		
流動負債		
買掛金	980,410	989,243
短期借入金	—	360,000
1年内償還予定の社債	237,500	225,000
1年内返済予定の長期借入金	574,428	545,356
未払金	618,844	238,221
未払法人税等	58,118	159,197
賞与引当金	273,176	433,181
役員賞与引当金	22,973	11,527
受注損失引当金	5,433	14,879
アフターコスト引当金	6,100	92
資産除去債務	937	—
その他	784,353	691,357
流動負債合計	3,562,275	3,668,055
固定負債		
社債	106,250	—
長期借入金	1,903,286	1,545,144
役員退職慰労引当金	47,328	48,588
退職給付に係る負債	180,348	176,674
資産除去債務	81,756	81,955
その他	400,332	378,860
固定負債合計	2,719,301	2,231,222
負債合計	6,281,577	5,899,277

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,046,232	1,046,232
資本剰余金	2,650,082	2,648,772
利益剰余金	1,592,272	1,576,543
自己株式	△386,410	△370,604
株主資本合計	4,902,177	4,900,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36,742	△79,370
その他の包括利益累計額合計	△36,742	△79,370
新株予約権	—	4,006
非支配株主持分	168,466	404,838
純資産合計	5,033,901	5,230,418
負債純資産合計	11,315,479	11,129,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,112,495	8,661,344
売上原価	6,085,601	6,354,753
売上総利益	2,026,893	2,306,590
販売費及び一般管理費	1,639,844	1,882,078
営業利益	387,048	424,512
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,553	11,853
助成金収入	5,808	6,012
その他	2,894	10,390
営業外収益合計	15,256	28,256
営業外費用		
支払利息	5,891	7,173
支払手数料	1,759	421
投資事業組合運用損	3,785	3,691
その他	624	414
営業外費用合計	12,060	11,702
経常利益	390,244	441,067
特別利益		
固定資産売却益	19	500
固定資産受贈益	1,000	—
特別利益合計	1,019	500
特別損失		
固定資産除却損	1,233	216
投資有価証券評価損	49,999	199,610
その他	—	6,366
特別損失合計	51,233	206,192
税金等調整前四半期純利益	340,031	235,374
法人税、住民税及び事業税	194,460	212,998
法人税等調整額	△55,406	△100,660
法人税等合計	139,054	112,338
四半期純利益	200,976	123,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,906	15,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,069	107,649

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	200,976	123,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,521	△42,628
その他の包括利益合計	△73,521	△42,628
四半期包括利益	127,454	80,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,547	65,020
非支配株主に係る四半期包括利益	9,906	15,386

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	340,031	235,374
減価償却費	52,302	52,123
のれん償却額	53,049	52,290
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△258	△266
受注損失引当金の増減額(△は減少)	9,416	9,445
賞与引当金の増減額(△は減少)	204,489	160,004
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,375	△11,446
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△362,495	1,260
固定資産受贈益	△1,000	—
固定資産除却損	1,233	216
投資有価証券評価損益(△は益)	49,999	199,610
投資事業組合運用損益(△は益)	3,785	3,691
受取利息及び受取配当金	△6,553	△11,853
助成金収入	△5,808	△6,012
支払利息	5,891	7,173
支払手数料	1,759	421
売上債権の増減額(△は増加)	△561,383	544,450
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,692	△25,826
仕入債務の増減額(△は減少)	133,290	8,833
未払金の増減額(△は減少)	△494,174	△379,419
長期未払金の増減額(△は減少)	366,592	△20,000
その他	△32,495	△80,965
小計	△254,645	739,105
利息及び配当金の受取額	6,017	11,516
利息の支払額	△4,179	△6,968
助成金の受取額	5,808	6,012
法人税等の支払額	△117,469	△144,542
法人税等の還付額	21,303	38,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	△343,164	643,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,483	△17,284
無形固定資産の取得による支出	△142,701	△13,391
資産除去債務の履行による支出	△2,595	△140
投資有価証券の取得による支出	△30,129	△22,200
敷金及び保証金の差入による支出	△7,845	△1,163
敷金及び保証金の回収による収入	2,507	863
保険積立金の積立による支出	△7,328	△6,128
定期預金の純増減額(△は増加)	50,561	△3,001
その他	△1,930	△929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,945	△63,375

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	680,000	360,000
長期借入金の返済による支出	△47,214	△387,214
社債の償還による支出	△118,750	△118,750
株式の発行による収入	2,134	—
自己株式の取得による支出	△249,783	△58
配当金の支払額	△230,743	△123,333
非支配株主への配当金の支払額	—	△16,019
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	238,200
その他	△2,794	△1,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,848	△48,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△472,282	531,475
現金及び現金同等物の期首残高	1,969,890	3,186,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,497,608	3,718,197

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。